

大学図書館問題研究会 京都

京都市左京区北白川追分町 京都大学数理解析研究所図書室

(堤臺宛気付)

TEL 075-753-7223

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 目次 | 1. 大図研大学「経済統計資料論」に参加して (船越清美) |
| | 2. 「現場から」—マイクロフィルムの保存について— (長井伸一) |

大図研大学「経済統計資料論」に参加して

船越 清美

「経済統計資料論：日本の統計を中心として」は細川元雄氏（京都大学経済学部講師）を迎え、12月7日—8日京大会館に於いて催された。講義をしていただく細川講師とは同学部へ属し、仕事の上でいろいろ教えていただいている。今回、どのような講義が聞けるのか、楽しみ半分、また難しすぎてわからないのではないかとビクビク半分で参加した。ここに、講義の内容と感想を簡単にまとめて紹介します。

1. 日本の統計・統計学の歴史

古くから人民支配の根本資料として作り出されたのが人口調査であり、この人口調査が近代的な意味での統計調査となったのがセンサス（国勢調査）である。経済学の登場とともに経済統計、たとえば労働統計、農業センサス、商工業センサスとして新しい局面を開いていく。失業調査・賃金調査・家計調査・労働調査・国民所得調査と次々と説明していただいた。それらはその時期の問題にみごとにマッチしており、その時期に一番必要な統計の要求を満たしていた。この時期の調査は我が国のこれからの方針を先取りし、これをみる事によって政策がわかるのではないだろうか。

2. 経済学と統計への関心

経済学は日常生活を営んでいる人間に関する研究である。（マーシャル・経済学原理）資本主義的生産様式が支配的に行われている社会の富は、一つの「巨大な商品の集まり」とし

て現れ、一つ一つの商品は、その富の基本形態として現れる。(マルクス・資本論) 第2次大戦中の3大発明とは原爆、ペニシリン、そして国民所得である。(ストレッチイ・現代の資本主義) 人口動態調査が毎年厚生省に於いて行われ、総務庁統計局の国勢調査(5年毎の人口静態統計)と合わせて、我が国の人口推計が行われている。その予測を見ると2013年以後人口増は止まり、年齢別では2020年以後、26%以上が65才以上となるらしい(高齢化社会といわれる根拠)。楽しみに予測が当たるかどうか待っていようと思う。

ここで国際的にも問題になり、世界用語にもなっている「過労死」について統計上どうなっているか取り上げられた。とても興味深く関心をもった。

3. 統計利用のガイド

総務庁統計局統計基準部監修・溝口敏行編「統計ガイドブック」によると統計の解説は次のとおりである。(1) 国民経済計算(2) 経済変動、物価(3) 社会政治基盤: 行政, 治安, 安全(4) 経済社会基盤: 人口, 厚生(5) 経済社会基盤: 教育, 科学技術(6) 経済社会基盤: 運輸, 通信(7) 家計の活動: 消費生活(8) 家計の活動: 労働供給(9) 企業の活動: 一般(10) 企業の活動: 農林水産(11) 企業の活動: 工業(12) 企業の活動: 鉱業, 建設業, エネルギー(13) 企業の活動: 商業, サービス(14) 財政, 金融(15) 国際経済関係

経済統計をみると、この章別は労働の分業体制を示している。それは一般に言われている第1次産業から第3次産業を示している。労働力は15才以上とされている。

4. 統計調査と統計資料

(1) 統計調査(統計情報の生産)

(1) 調査機関(2) 調査目的(3) 調査の法的根拠(4) 調査の沿革(5) 調査の時点(6) 調査の対象及び単位(7) 調査事項(調査票の種類)(8) 調査方法(標本抽出等)(9) 集計及び結果の公表

(2) 統計資料の種類

(1) 第1次統計と第1次出典(2) 第2次統計と第2次出典

第1次資料をいかに使うのかが研究上の問題。現在産業連関表など、重要な第2次統計は磁気テープとなり、これを使って大型コンピュータに入れて分析が行われる。

5. 政府刊行物と統計資料の参考図書

国内と海外の主な国の資料類77点、辞典類8点個々の説明を加えていただいた。(我が経済学部はこれらの資料をどれだけ持っているのだろうか?)

講義の中でやはり「過労死と統計」が一番興味を引いた。あとで細川講師に教えていただいた藤田光夫著「過労死と労働災害・職業病統計」を読んでみた。おどろいた事に「我が国の労働災害、職業病統計において、その状況を統計的に確認する事が出来ない」「過労死を中心とする多くの疾病、死亡が私的な病気として扱われ、業務上災害の認定を受け

られず、労災、職業病として統計に現れてこない」とあった。また、私たち公務員はこの統計の対象外なのである。国が政策としてこの統計を求めているし、事業主も労災、職業病と認めたくないのだという以外の何ものでもないという事である。経済統計学とは統計学の経済への領域の応用である。経済の領域が人間にかかわる問題である以上広範囲である。統計資料の収集・整理・運用のかたわら経済学の学習は欠かせないと痛感した。

最後に12月という忙しい時期、しかも土曜日、日曜日の貴重な時間を費やして熱心に講義していただいた細川講師に心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。
(京都大学経済学部図書室)

「現場から・京都大学人文科学研究所」

マイクロフィルムの保存について

長井 伸一

本研究所東方部では約30年前からマイクロフィルムを使用しています。今回本研究所が所蔵するマイクロフィルムを調査したところ、総数約2500リールのうち3割程度に異常がみられました。(異常内容:酢酸臭、べとつく、歪む、白い斑点が出来る等)そのため、急ぎ富士フィルム株式会社に連絡をとり対策をお伺いしたところ下記のような回答をいただきました。

なお、この問題については東京大学東洋文化研究所図書掛の方ともお話したのですが、問題自体が最近発見されたため各図書館の担当者の中にもご存じ無い方もおられるようです。(従来、図書館界ではマイクロフィルムはきわめて長期間の保存に耐えるが、高温多湿下の保存だけは避けなければならないのみ知られていたようです。しかし、いかなるメカニズムでフィルムの破損が進むか、それにたいしてどう対応するかは、知られていなかったようです。従って、仮にフィルムに異常が生じた場合でも、単に現像過程に何等かの問題があったとされている場合が多いようです。)

各図書館所蔵のマイクロフィルム保存に対して対策を立てることは、原資料の保存をはかる事と同様、極めて重要であると考えますので、ここに私的にご連絡する次第です。

記

- (1) トリアセテートベースのマイクロフィルムは室温・常湿下で密閉系に保存されている場合、撮影後約30年たつと急速な劣化が始まる。劣化は最初酢酸臭が発生する程度から始まり、そのうち酢酸によりフィルムが粘調となり、やがてフィルムの成分が析出しフィルム全体が固まってしまう。(フィルムが破壊される)
- (2) 以上の機構は次の通り。

フィルムベースとなっているトリアセテートは通常きわめて変質しにくいですが、ごくゆっくりと水と反応し酢酸を生じる。その酢酸が放散されずにフィルムに密

積されると、やがてフィルムの分解により生じた酢酸の濃度が、逆にフィルムの分解反応を促進する触媒となる高さまで達する。そうするとフィルムの分解により生じた酢酸がフィルムの分解を促進しそれにより再び新たな酢酸が生じるという悪循環が形成され、フィルムの破壊が急速に進行する。また、この過程はフィルムに金属が接していることによってさらに促進される。

なお、酢酸を生じている痛んだフィルムと同じ家具に新しいフィルムを入れておくと、新しいフィルムにも同様な反応を生じ、急速に破損する。

(3) 痛み始めたマイクロフィルムの保管と破壊に対する対策。

- A. 痛んだフィルムは隔離する。
- B. マイクロフィルムに生じた酢酸を速やかに放散させる。(正常な大気下でゆっくりとまきなおすとよい。)
- C. 金属製のリールやフィルム缶はマイクロフィルムの保存によくないのでプラスチックリールと紙箱に交換する。
- D. 甚だしくいたんだマイクロフィルムについては、酢酸を放散させた後、フィルム自体を再び現像処理(現像液・定着液・停止液を通し水洗する)をする。
- E. どうしようもなく破損したマイクロフィルムについては、ポリエステルベースのマイクロフィルムに複写し直す。

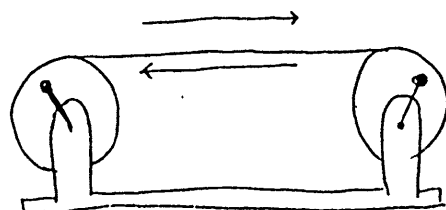
(4) マイクロフィルムの理想的な保存環境(新ISO規格による)

- A. 保存温度 21度以下 (従来と同じ)
- B. 保存湿度 20%~30%(旧ISOでは14~40%・・・湿度が低すぎるとフィルムにひびが入る。)
- C. 通気性 密閉保存は避ける
- D. 材質 金属性の缶やリールは避ける
- E. 検査 3年毎に検査(目視、臭気、包装材料も含む)缶や箱を開け紙バンドをほどこき、出来たら巻き戻してみる。もし異常が発見された場合はそのフィルムを隔離し除酸処理や複写(上記3)をおこなう。
- F. 異常が発見されたフィルムと正常なフィルムは同一の場所には保管しない。

おって、本研究所では次のようにフィルムビューワーを使って風を当てながらマイクロフィルムをゆっくり往復させ、同時にリールを取り替える予定です。

作業は単純ですが時間がかかりかつ悪臭がひどいという問題があります。

(なお、リール・紙箱共に1個100円、紙バンドは50円程度だそうです。)



↑ 風

『京都の大学図書館』出版！

— 1口2千円以上カンパの方に進呈 —

大学図書館問題京都支部

京都支部創立十周年記念行事として3年前に企画された相互利用の為のハンドブック1992『京都の大学図書館』がついに出版されました。アンケートも念を入れて2回行ないました。1991年3月現在という最も新しいデータに基づくこと、蔵書構成や文庫の特徴、ガイダンスの仕方にも言及するなど従来の類書を一步越えたものになっています。京都の大学図書館に関する限り必携のハンドブックとなることは疑いありません。

▽掲載図書館数 国立3、公立3、私大18、短大9、計33大学、60図書館・室
(京大の24図書館・室を含む)

▽調査項目 住所、電話、ファックス、交通案内、近辺地図、施設、開館時間、休館日、相互利用(文献複写、現物貸借、学外者への公開、所蔵調査)、組織、年間受入冊数、年間予算、利用実態(貸出冊数)、利用者教育、蔵書構成の特徴、主な文庫

<注1> 各項目ともさらに小項目あり

<注2> 1図書館各4頁

<注3> 蔵書構成の特徴と主な文庫は巻末に35頁に涉って掲載

▽体裁 B5版 278頁

▽申込方法 カンパ1口(2千円)以上納入の方に進呈

送金方法 郵便振替 口座番号 京9-5904

加入者名 大学図書館問題研究会京都支部

<公費の場合> 必要な書類等下記宛にご連絡ください。

京都大学文学部図書室整理掛 橋本展世 (TEL 075-753-2711)